

資料展示「あのときのベストセラー～平成編～」を実施しています！

【平成のベストセラー本が大集合！】

県立図書館では、戦後80年を迎える年の企画展示として、当館の87万冊の蔵書の中から昭和・平成・令和のそれぞれの時代の人々が求めた“あのときのベストセラー”を紹介しています。

今回は第2弾として、平成（1989（平成元）年～2019（平成31）年）にベストセラーとなった本の展示・貸出しを実施しています。

1 期 間

令和7年3月15日（土）～6月15日（日）

2 内 容

1989（平成元）年～2019（平成31）年の間にベストセラーとなった本の展示・貸出し

3 展 示 資 料

図書 291 冊

【例】

「鉄道員（ぽっぽや）」浅田次郎、集英社、1997

雪深い廃鉱の終着駅を守る年老いた鉄道員の話「鉄道員」ほか、8編を収録。あなたに起こるやさしい奇蹟。直木賞受賞作。

「世界の中心で、愛をさけぶ」片山恭一、小学館、2001

十数年前・高校時代・恋人の死。好きな人を亡くすことは、なぜ辛いのだろうか。落葉の匂いのするファーストキスではじまり、死を予感させる無菌状態のキスで終わる、「喪失感」から始まる魂の彷徨の物語。

「おとなの教養」池上彰／著、NHK 出版、2014

現代の教養とは「自分を知ること」。「宗教」「宇宙」「人類の旅路」「人間と病気」「経済学」「歴史」「日本と日本人」の7科目のエッセンスを講義形式で明快に説く。「教養の本質」が一気に身につく一冊。

